

- 1 日 時 平成25年7月22日(月) 10時00分～12時00分
- 2 場 所 静岡庁舎 新館17階 170会議室
- 3 出席者 (委員) 久保田会長、瀧委員、坪井委員、山本委員、櫻井委員、
松本委員、村松委員、北村委員、丹羽委員(代理:南城)、
仲田委員、勝山委員
(関係者) 田村委員(代理:中谷)、諸田委員、
村松委員、鈴木委員
(事務局) 松浦都市計画部長、小林交通政策担当部長、大滝参与兼
交通政策課長、吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 5 議 題 LRT導入に向けた整備効果と実現性について
- 6 会議内容
(1) 開会
(2) 開会あいさつ
(3) 議題説明
(4) 意見交換
(5) 報告事項
(6) 閉会

○議題説明

(1) LRT導入に向けた整備効果と実現性について

以下の事項を事務局より説明

第3回協議会の指摘事項と対応(案)

「静岡型コンパクトシティ」の実現に向けた公共交通の整備及びまちづくりの推進

- ・静岡市の目指す公共交通ネットワーク
- ・各都心における導入の目的
- ・各ルートの概要について
- ・導入効果について
- ・各ルートの概算事業費
- ・事業スキームについて
- ・葵ルート・駿河ルートの課題と対応
- ・関連施策について
- ・葵・駿河ルートイメージパース

○意見交換

<ルートについて>

- ・ 中心市街地の拠点から中山間地へ伸ばすようなルート案に見直してもらいたい。
- ・ 駿河ルートはあくまでも駿河区役所を中心に考えられている。観光を中心にして考えていくのはどうか。
- ・ 第3回協議会で山本委員が提示したルート案について評価をもらいたい。

<LRTの導入効果について>

- ・ 用地買収や車両基地など初めにお金がかかるが、だんだんと社会的費用は少なくなるし、経済効果も出る。長い年月で見ると社会的効果が出ることを強調してほしい。
- ・ LRT 導入による便益分析について、第三者の意見を取り入れ、客観性を担保すべき。
- ・ 静岡地区の移動時間短縮便益について、乗換えの有無で多少なりとも違いがあるのではないか。

<自動車の流入抑制について>

- ・ 「自動車の流入抑制」と表現すると抵抗意識が働くため、言葉遣いに気を付けてほしい。
- ・ 自動車を排除するというのではなく、まず自動車をコントロールすることによるまちのビジョンを示す必要がある。高齢化が進むなかで、車に頼らなくてよい社会にしてから自動車を徐々に排して路面電車を優先的に入れるという理論展開にしなければならない。

<概算事業費について>

- ・ 負担額が高い、税金の無駄遣いだという市民からの反発を受ける。環境に優しい、人間中心のまちづくりという明るいイメージを強調する方が良い。

<導入に向けた施策について>

- ・ シンポジウムでは、歩行者の権利や公共交通の利点などについて、具体的にわかる、誰もの心に響くような表現で市民に訴えてもらいたい。

<今後の協議会の進め方について>

- ・ 公共交通に詳しい方を呼んで、公共交通の考え方についてみんなで考えるというのはいかがでしょうか。
- ・ 第5回協議会で終わりではなく、次はプロジェクト段階で実施するというのを継続して議論し、早く目途をつけてほしい。